

北海道特集

北海道の馬鈴薯栽培

十勝農協連合会農産部農産課長 上田裕之氏



上田裕之氏

上田裕之氏の講演要旨は次の通り。

【馬鈴薯栽培の現状】平成20年の馬鈴薯の面積は5万5000ha、馬鈴薯の用途を区分は大きく

北海道農業機械工業会新年講演会は「北海道における馬鈴薯栽培の課題と展望」と題して十勝農業協同組合連合会農産部農産課長の上田裕之氏が講演した。「馬鈴薯栽培はまだ課題が多いが、機械化を促してこれ以上栽培面積を増やしていきたい」とし、馬鈴薯栽培の現状、栽培におけるポイントや解決策、十勝の種馬鈴薯の歴史と現状について論じた。

は、日本全体の5万5000ha、そのうち北海道は5万5000ha、馬鈴薯の用途を区分は大きく分けて生食用・加工用・澱粉用。①種いも準備 40〜60センチ全長、60、150センチ2つ切り、1

②植付作業 <プランター>①カットインクプランター②ニードル型③種馬鈴薯生産者が活用するコンベヤ式ベルト型などがあがる。精度の面でベルト型は人手が必要とて播種速度が遅いなどの問題もある。ただし、カットインクプランターは速度を上げると精度が悪くなる。最近になり、可変株間

の点では素晴らしい。しかし、誰でも何処でも早期一発中大きく播種しているという訳ではない。③収穫・選別作業 これまで述べた春の作業と違い、秋は秋播き小麦の作業や他の作物の収穫なども重なるとも、この作業には不適地もある。

も一農家あたりの面積は広くなる一方、省力化を解決しないとこれ以上馬鈴薯生産は前に進まないのではないか。もう一つ忘れてはならないのが日本は雨が多く夏は高温、冬は低温と畑作には不適地もある。

とがよい。②種馬鈴薯の生産指導 昭和39年には一般圃場のワイルド病発生率は27.2%あったが、原原種圃場周辺の種子更新の徹底やアブラムシ防除など原種圃場生産圃場の集約・整備を強力に推進。こうした対策を結び平成6年〜20年まで防疫検査合格100%を達成した。

また、平成15年には管内でシャガイモシストセクチュアが初めて確認。そのため、十勝管内全圃場の土壌検査の実施や製糖工場対策、澱粉工場及び馬鈴薯集荷施設対策などを実施。

作業の省力化がカギ 日本に合う機械化体系を



馬鈴薯の収穫作業

地域によって道央・道南は生食用、網走は澱粉用、十勝が加工用の生産が盛ん。北海道の馬鈴薯面積は全体的に減少しており、平成9年で6万5000haだったが平成21年には5万5000haを割ってきた。表面積では生食用が7000ha減、加工用は1000ha増、澱粉用は5000ha減と加工用が増えている。

【馬鈴薯の栽培】 主流は「浸漬処理」。だが、種子を濡らすことは様々なリスクを招く恐れがあることから、欧州で広く使われている「ミニト噴霧」がベストではないかと思つた。

50g以上は3つ切り以上の種を植えていく。切断作業は多大な労力が必要で、他、切断刀を介した種子伝染性病害まん延リスク回避のため、1塊당毎に消毒して取り替えるから行っている。

この作業で最も効果をおいているのがロタリーヒラー、リッシャーによる早期一発播種。ヒラーは特に収穫時の土塊混入減少に有効性を発揮する。

【馬鈴薯栽培の機械化】 農家の人口は減りつつあるため、米、小麦などは適切な面積確保がなければ、その影響は農業だけでなく地域経済にも大きな影響を及ぼすことになる。

【十勝の種馬鈴薯生産の歴史と現状】 ①十勝の種馬鈴薯面積及び生産者数 原種生産面積は248.0ha、生産品種は48種類を数え、全国に供給する一大種いも生産基地

なっている。 国産措置を撤廃すること(安い輸入農産物がどんどん入ってくる)は、国内産農産物の生産は減少を余儀なくされる。それを食料の流れでみると、

わが国最大の食料供給基地である北海道農業の減速は、全国への食料供給へも影響を

6次産業化

自社野菜の加工も 直売店やネットの販売

北海道内でも農産物の流通・加工を中心とする6次産業化の取り組みが行われている。

最新の認定は昨年10月31日で、この時の認定件数は151件で、累計は408件。北海道は8

売を計画している。 具体的には、小麦、カボチャなどで、新たにどんな野菜を開発、手打ち

ボクは、自社ブランドのホエー放牧豚を使った新商品の開発及び販売拡大を目指す。

内容は、自社生乳と自社短角牛を活用し、商品開発、販売を行う。 地域のニーズに応えて自社生乳から牛乳、ソフ

にも取り組む。 根室市の(有)伊藤畜産は自社生産の原料乳を活用した菓子類の開発及び自社短角牛の商品化事業に取り組む。

TPP(環太平洋経済連携協定)は2月以降が参加を巡ってのヤマ場になる。 北海道が試算しているTPPによる北

このため、TPPが仮にこの前提で締結された場合の一つの試算として米年度で道内に2兆1000億円の影響があると

減する。 これらを含めさせた影響額は、2兆1254億円

の減少。これは農業産出額が5663億円、関連産業が5215億円などで

を食料の流れでみると、

減少 試算